

2025年3月期第2四半期 決算ダイジェスト



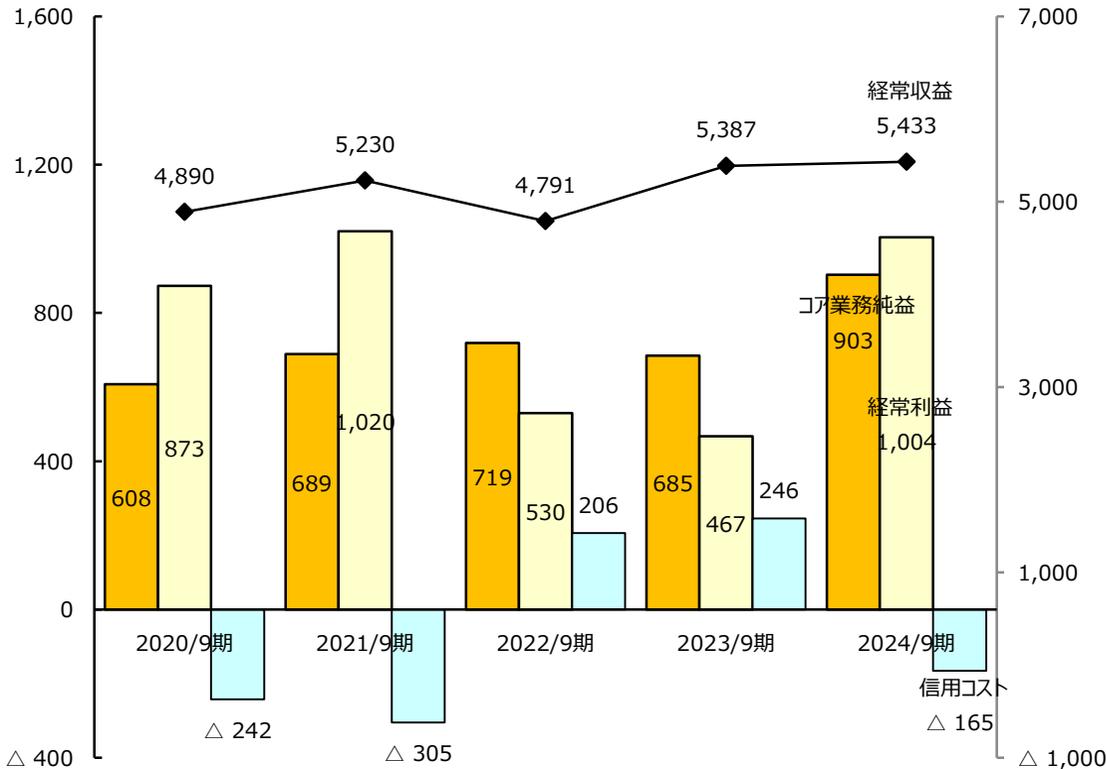
目次

1. 2025年3月期第2四半期決算ハイライト	1
2. 損益の状況	2
3. 貸出金の状況	3
4. 信用コストの状況	5
5. 不良債権の状況	6
6. 有価証券の状況	8
7. 預金（譲渡性預金を含む）の状況	10
8. 預り資産の状況	11
9. 自己資本比率	12
10. 業績予想	13

1. 2025年3月期第2四半期決算ハイライト

主要指標の推移

(単位：百万円)



・当中間期は2021年9月期以来、**3年ぶりの増収増益決算**となりました。また、**コア業務純益は前年同期比2億18百万円増加**し、9億3百万円となりました。主な要因は以下のとおりです。

【収益項目の増加】

・金融商品の窓口販売手数料の増加等による**役務取引等利益の増加** (+133百万円)

【費用項目の減少】

・**営業経費の減少** (△87百万円)

・貸出金償却の減少に伴う**信用コストの減少** (△412百万円)

・なお、日銀政策金利の利上げを受けて預金金利を引き上げたことで、預金支払利息は増加したものの、貸出金利息、有価証券利息配当金の増加等により、資金利益は前年同期比で微増しております。

2. 損益の状況

(単位：百万円)

主な増減要因等

		2024年9月期		2023年9月期
			2023年9月期比	
経常収益	1	5,433	45	5,387
(貸出金利息)	2	3,782	22	3,760
(有価証券利息配当金)	3	301	26	274
(役員取引等収益)	4	711	126	584
業務粗利益	5	4,157	224	3,933
[コア業務粗利益] 5 - 10	6	[4,202]	[130]	[4,071]
資金利益	7	4,073	6	4,067
役員取引等利益	8	137	133	4
その他業務利益	9	△ 53	84	△ 138
(国債等債券損益)	10	(△ 44)	(93)	(△ 138)
経費 (除く臨時処理分) (△)	11	3,298	△ 87	3,386
(人件費) (△)	12	1,862	24	1,837
(物件費) (△)	13	1,223	△ 82	1,305
一般貸倒引当金繰入額 (△)	14	—	—	—
業務純益 5 - 11 - 14	15	859	311	547
コア業務純益 6 - 11	16	903	218	685
コア業務純益 (除く投資信託解約損益)	17	905	220	685
臨時損益	18	145	224	△ 79
(不良債権処理額) (△)	19	△ 165	△ 412	246
(貸倒引当金戻入益)	20	258	△ 128	386
(償却債権取立益)	21	149	53	95
(株式等損益)	22	3	△ 172	176
経常利益	23	1,004	536	467
特別損益	24	△ 41	△ 11	△ 30
税引前中間純利益	25	962	525	437
法人税等合計 (△)	26	74	△ 40	115
中間純利益	27	888	566	321
< 信用コスト > 14 + 19 (△)	28	< △ 165 >	< △ 412 >	< 246 >

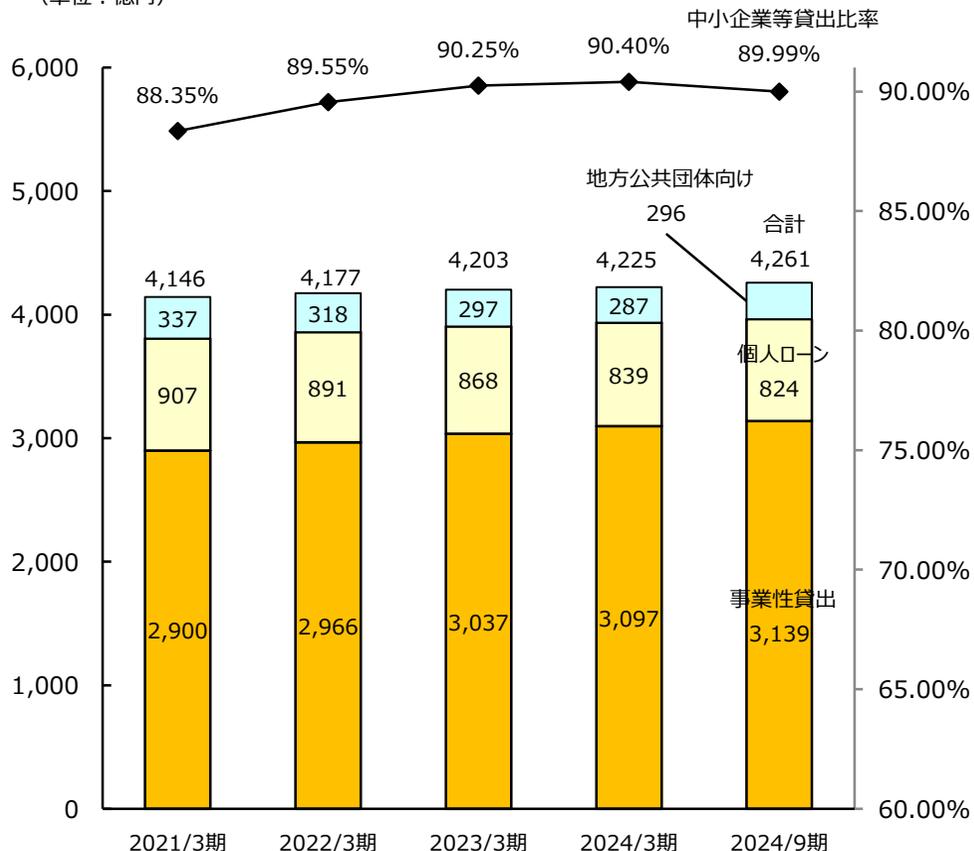
項目名	項目番号	当期実績 (百万円)	前期比 (百万円)	増減要因
経常収益	1	5,433	+45	貸出金利息 (2)、有価証券利息配当金 (3) 及び役員取引等収益 (4) の増加等によるもの
コア業務粗利益	6	4,202	+130	役員取引等利益 (8) の増加等によるもの
経費	11	3,298	△ 87	物件費 (13) の減少等によるもの
コア業務純益	16	903	+218	役員取引等利益 (8) の増加及び経費 (11) の減少等によるもの
経常利益	23	1,004	+536	業務純益 (15) の増加及び不良債権処理額 (19) の減少等によるもの
中間純利益	27	888	+566	経常利益 (23) の増加等によるもの
信用コスト	28	△ 165	△ 412	不良債権処理額 (19) の減少によるもの

3. 貸出金の状況①

貸出金残高の推移

(単位：百万円,%)

(単位：億円)

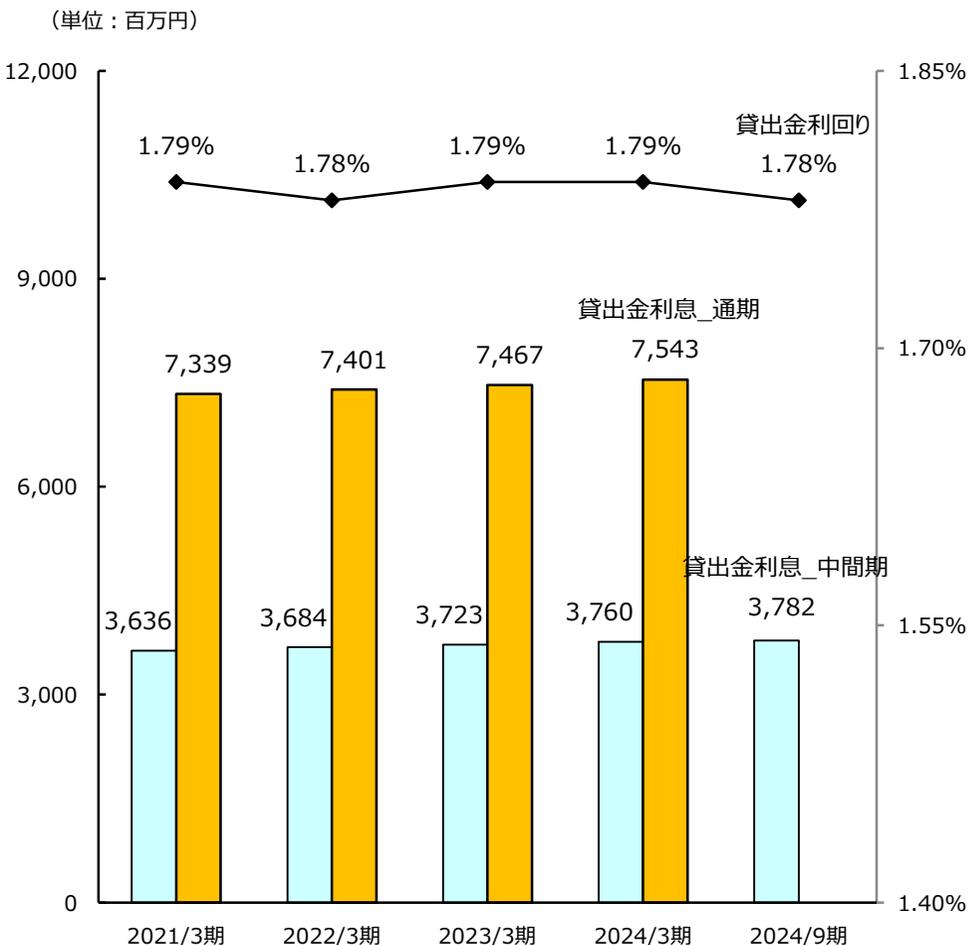


	2024年9月末		2024年3月末
		2024年3月末比	
貸出金残高①	426,112	3,605	422,506
事業性貸出	313,981	4,218	309,762
個人ローン②	82,453	△1,505	83,958
住宅ローン	61,386	△1,584	62,970
その他ローン	21,067	78	20,988
地方公共団体向け	29,677	892	28,785
個人ローン貸出比率②÷①	19.35	△0.52	19.87
中小企業等貸出残高③	383,491	1,508	381,982
中小企業等貸出比率③÷①	89.99	△0.41	90.40

- 貸出金残高は個人ローンが減少したものの、事業性貸出の増加（前年度末比42億18百万円の増加）等により、前年度末比36億5百万円増加し、4,261億12百万円となりました。
- 個人ローンは住宅ローンの減少（前年度末比15億84百万円の減少）等により、15億5百万円減少し、824億53百万円となりました。
- 中小企業等貸出残高は、地域の中小企業のお客さまに対する円滑な資金供給に努めた結果、前年度末比15億8百万円増加し、3,834億91百万円となりました。

3. 貸出金の状況②

貸出金利息の推移



(単位：百万円,%)

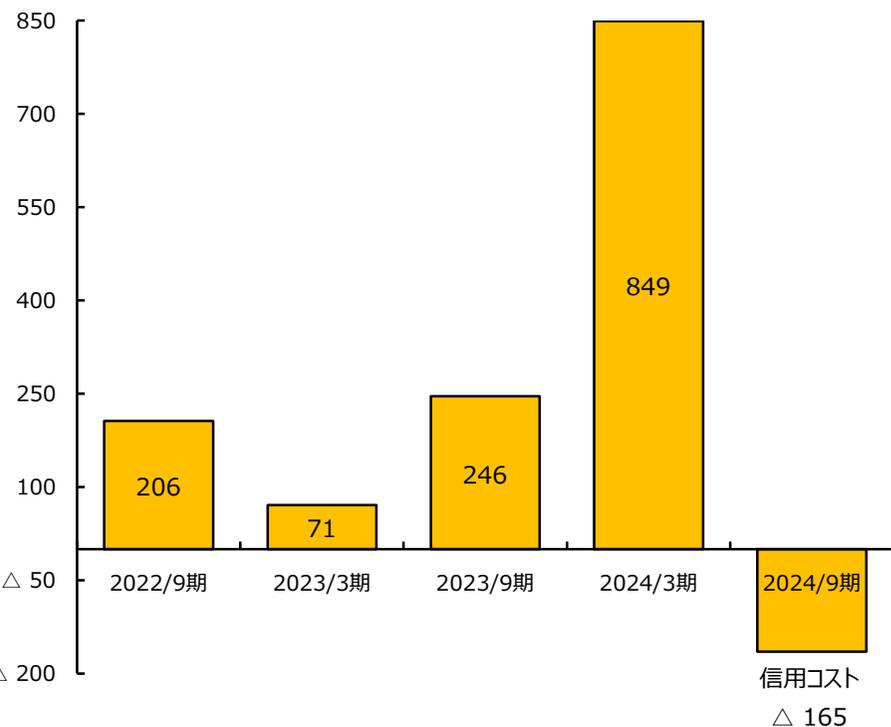
	2024年9月末	2023年9月末比	
		2023年9月末比	2023年9月末
貸出金平残	422,313	3,512	418,800
貸出金利回り	1.78	△ 0.01	1.79
貸出金利息	3,782	22	3,760

- 貸出金平残は前年同期比35億12百万円増加し、4,223億13百万円となりました。
- 貸出金利回りは、前年同期比0.01ポイント低下し、1.78%となりましたが、21年3月期以降、概ね横ばいの水準と評価しております。10月1日に短期プライムレート（貸出基準金利）を引き上げましたので、下期は上昇するものと見込んでおります。
- 貸出金利息は貸出金平残の増加により、前年同期比22百万円増加し、37億82百万円となりました。中間期では2021年9月期より4期連続の増加となりました。

4. 信用コストの状況

信用コストの推移

(単位：百万円)



信用コストの状況

(単位：百万円,%)

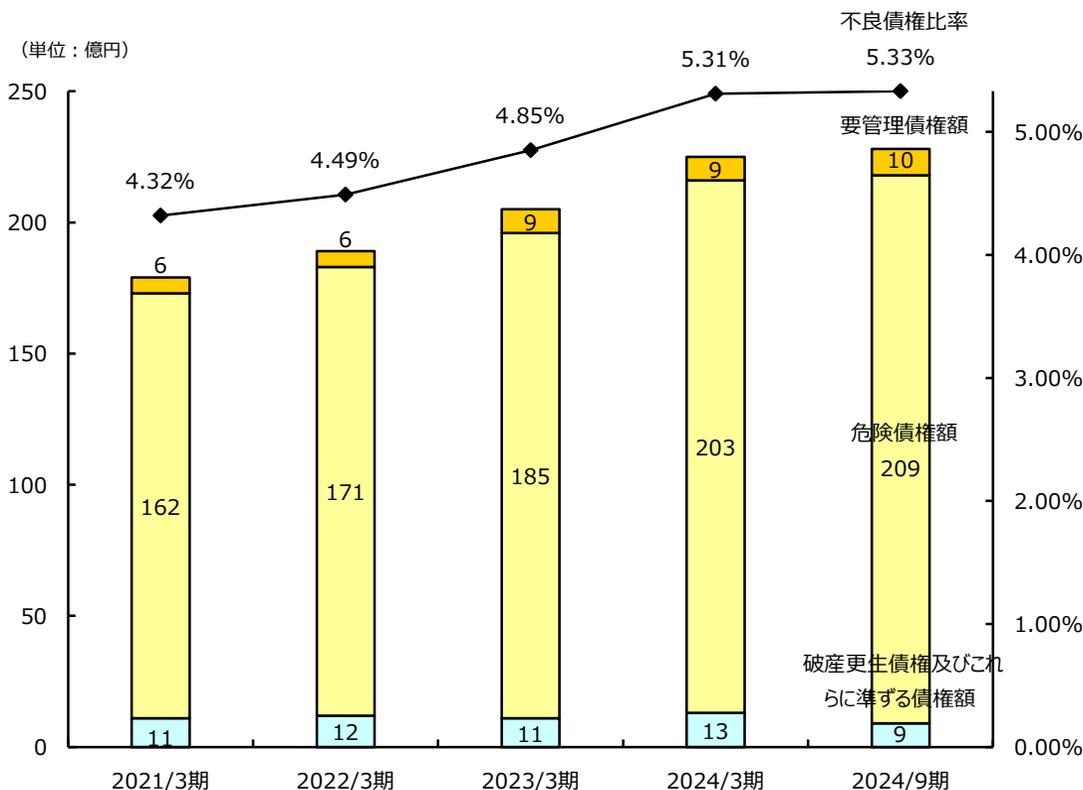
	2024年9月末		2023年9月末
		2023年9月末比	
一般貸倒引当金繰入額 ①	—	—	—
不良債権処理額 ②	△ 165	△ 412	246
貸出金償却	207	△ 492	700
個別貸倒引当金繰入額	—	—	—
債権売却損益 (△)	1	△ 0	1
貸倒引当金戻入益 (△)	258	△ 128	386
償却債権取立益 (△)	149	53	95
その他不良債権処理額	35	5	29
信用コスト ① + ②	△ 165	△ 412	246

(注) 不良債権処理額 = 貸出金償却 + 個別貸倒引当金繰入額 - 債権売却損益 - 貸倒引当金戻入益 - 償却債権取立益 + その他不良債権処理額

貸出金償却の減少等により、信用コストは前年同期比4億12百万円減少し、1億65百万円の戻入益となりました。

5. 不良債権の状況①

不良債権残高及び比率の推移



不良債権（金融再生法開示債権）の状況

(単位: 百万円, %)

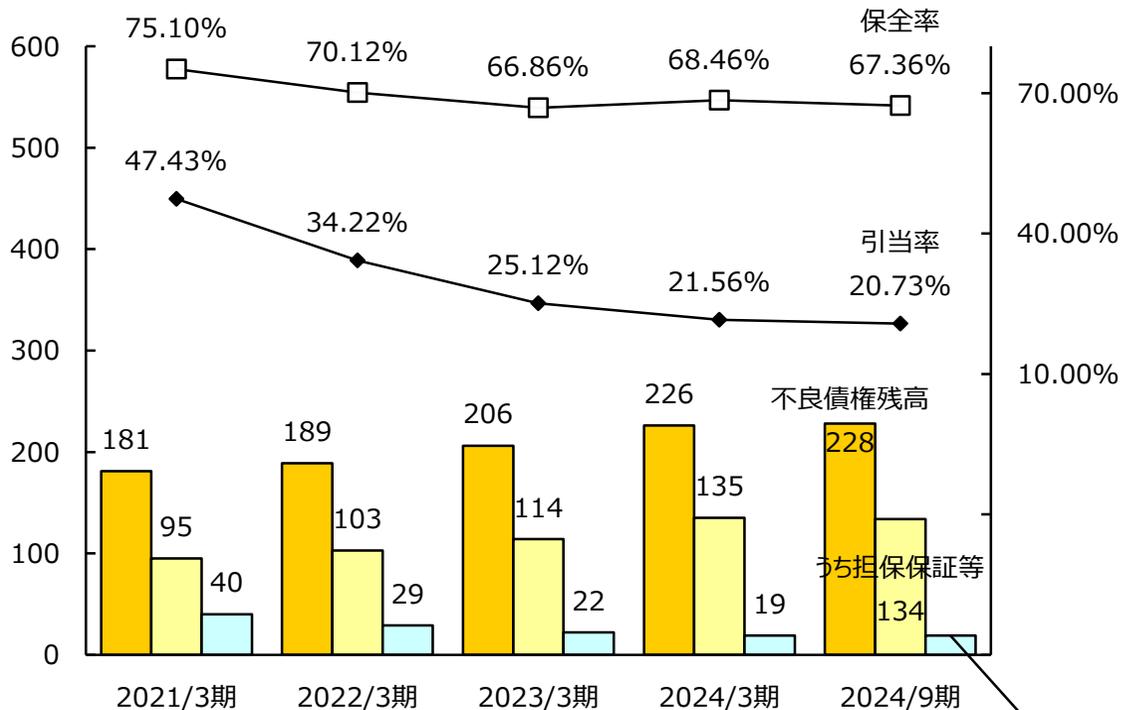
	2024年9月末	2024年3月末比	2024年3月末
	破産更生債権及びこれらに準ずる債権額	963	△ 348
危険債権額	20,928	604	20,323
要管理債権額	1,008	9	998
三月以上延滞債権額	—	—	—
貸出条件緩和債権額	1,008	9	998
不良債権残高計①	22,899	265	22,633
正常債権額	406,390	2,797	403,593
総与信額②	429,290	3,062	426,227
不良債権比率① ÷ ②	5.33	0.02	5.31
保全率	67.36	△ 1.10	68.46

- 物価高騰や人手不足の影響等により、経営状況が悪化するお取引先が増加したことにより、危険債権額が増加したため、不良債権残高は前年度末比2億65百万円増加し、228億99百万円となりました。
- 不良債権比率は、前年度末比0.02ポイント上昇し、5.33%となりました。なお、部分直接償却を実施しない場合の同比率は6.14%となります。

5. 不良債権の状況②

引当率等の推移

(単位：億円)



うち貸倒引当金

19

(単位：百万円,%)

不良債権（金融再生法開示債権）の保全状況

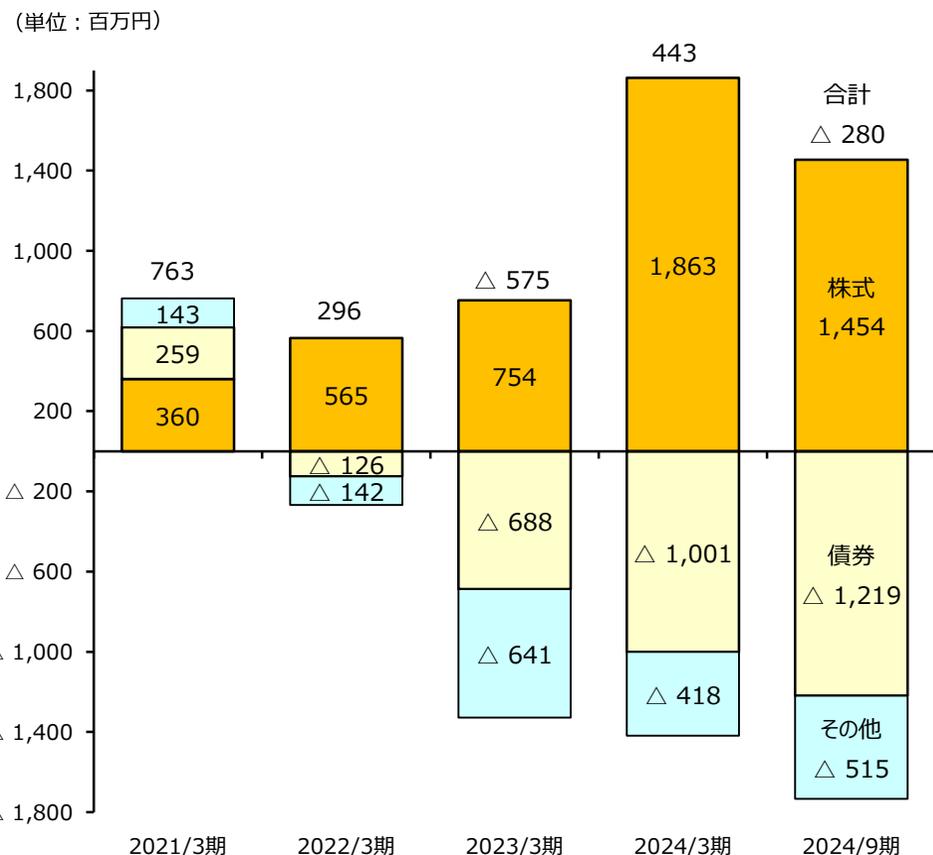
	2024年9月末		2024年3月末
		2024年3月末比	
不良債権残高 A	22,899	265	22,633
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	963	△ 348	1,311
危険債権	20,928	604	20,323
要管理債権	1,008	9	998
保全額 B+C	15,427	△ 67	15,495
担保保証等 B	13,473	△ 59	13,532
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	892	△ 323	1,215
危険債権	12,413	250	12,163
要管理債権	166	13	153
貸倒引当金 C	1,954	△ 8	1,962
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	70	△ 25	95
危険債権	1,716	△ 30	1,747
要管理債権	166	46	120
引当率 C/(A-B)	20.73	△ 0.83	21.56
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	100.00	—	100.00
危険債権	20.16	△ 1.25	21.41
要管理債権	19.83	5.63	14.20
保全率 (B+C)/A	67.36	△ 1.10	68.46
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	100.00	—	100.00
危険債権	67.51	△ 0.93	68.44
要管理債権	33.10	5.74	27.36

・不良債権の引当率は、前年度末比0.83ポイント低下し、20.73%となりました。

・不良債権の保全率は、前年度末比1.10ポイント低下し、67.36%となりました。

6. 有価証券の状況①

有価証券評価差額の推移



評価差額

(単位：百万円)

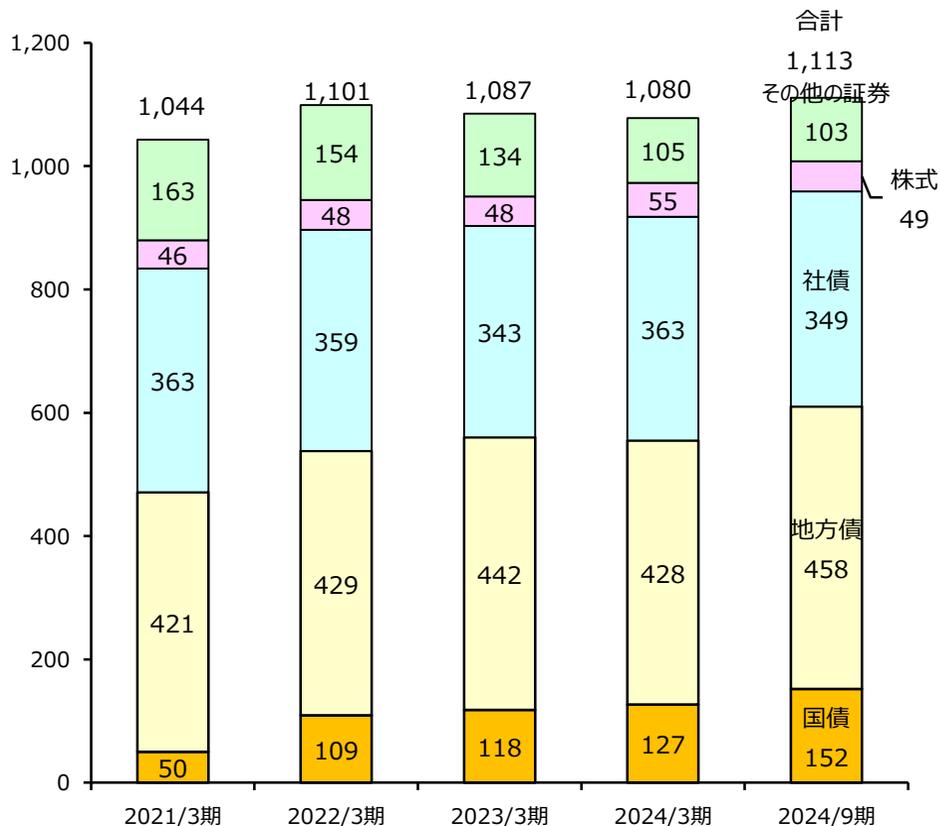
	2024年9月末		2024年3月末
		2024年3月末比	
有価証券	△ 280	△ 724	443
株式	1,454	△ 409	1,863
債券	△ 1,219	△ 218	△ 1,001
その他	△ 515	△ 96	△ 418

- ・日銀の政策金利の利上げ等に伴い株式相場は乱高下したものの、株式の評価差額は14億54百万円の評価益となりました。他方、長期金利上昇に伴う債券価格の下落等により、債券の評価差額は12億19百万円の評価損となりました。
- ・その結果、有価証券の評価差額全体では前年度末比7億24百万円減少し、2億80百万円の評価損となりました。
- ・なお、債券のデュレーションは前年度末比0.06年短縮化され、3.36年となりました。

6. 有価証券の状況②

有価証券残高の推移

(単位：億円)



残高

(単位：百万円)

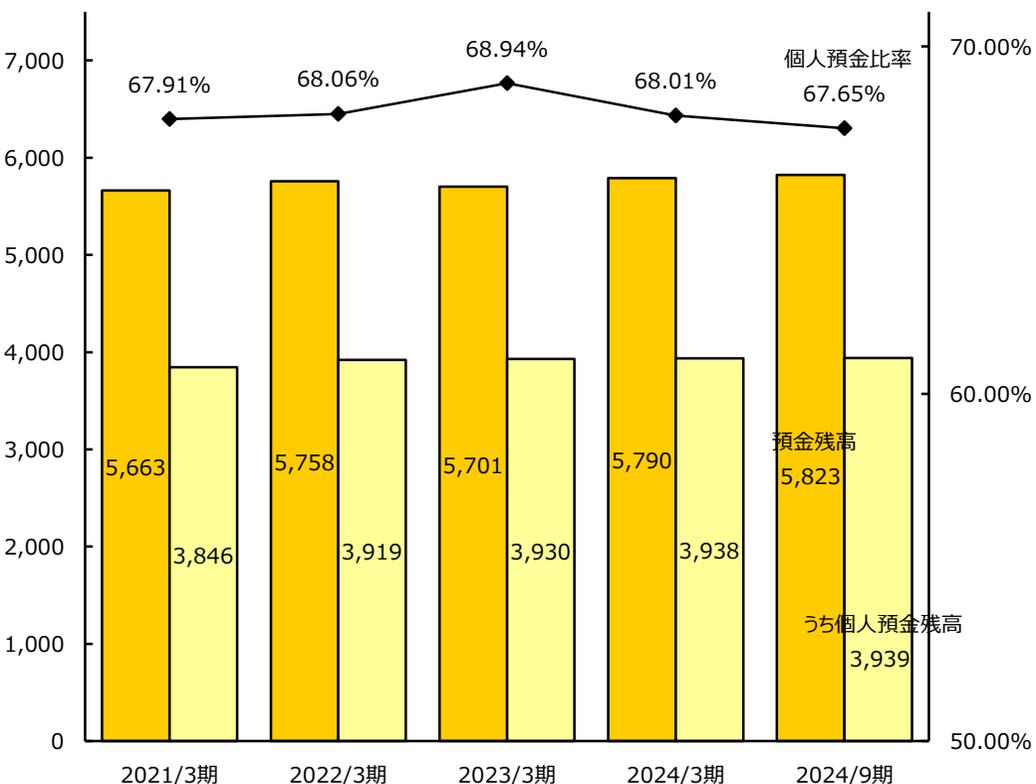
有価証券	2024年9月末	2024年3月末比	2024年3月末
	有価証券	111,300	3,251
国債	15,208	2,461	12,746
地方債	45,832	2,963	42,869
社債	34,980	△ 1,399	36,379
株式	4,966	△ 540	5,506
その他の証券	10,313	△ 234	10,547

- ・有価証券残高は前年度末比32億51百万円増加し、1,113億円となりました。

7. 預金（譲渡性預金を含む）の状況

預金残高の推移

(単位：億円)



(単位：百万円,%)

	2024年9月末		2024年3月末
		2024年3月末比	
預金残高 ①	582,353	3,319	579,033
個人預金 ②	393,969	113	393,856
法人預金	188,383	3,206	185,177
個人預金比率 ②÷①	67.65	△ 0.36	68.01
大分県内預金残高	561,731	2,320	559,410

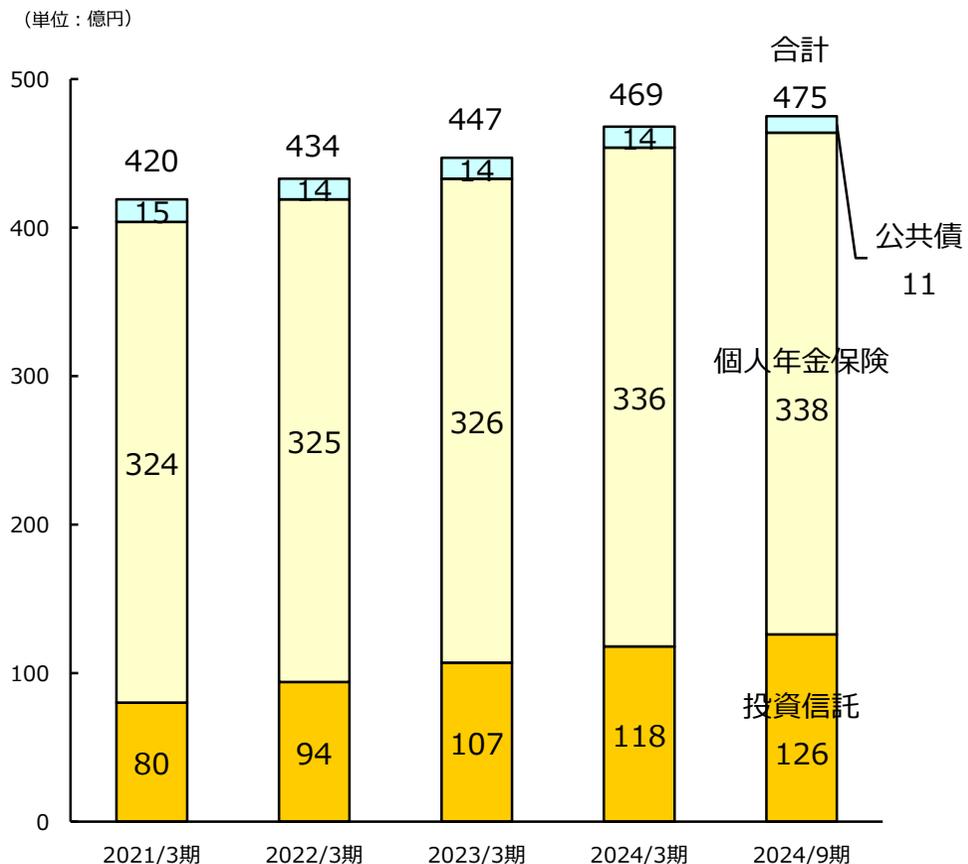
(注) 1. 預金には譲渡性預金を含んでおります。

(注) 2. 「法人預金」＝一般法人預金＋金融機関預金＋公金預金

・個人預金と法人預金がともに増加したことから、預金残高は前年度末比33億19百万円増加し、5,823億53百万円となりました。

8. 預り資産の状況

預り資産残高の推移



(単位：百万円)

	2024年9月末		2024年3月末
		2024年3月末比	
預り資産残高	47,599	625	46,974
投資信託	12,647	818	11,828
個人年金保険	33,815	136	33,678
公共債	1,137	△ 329	1,467

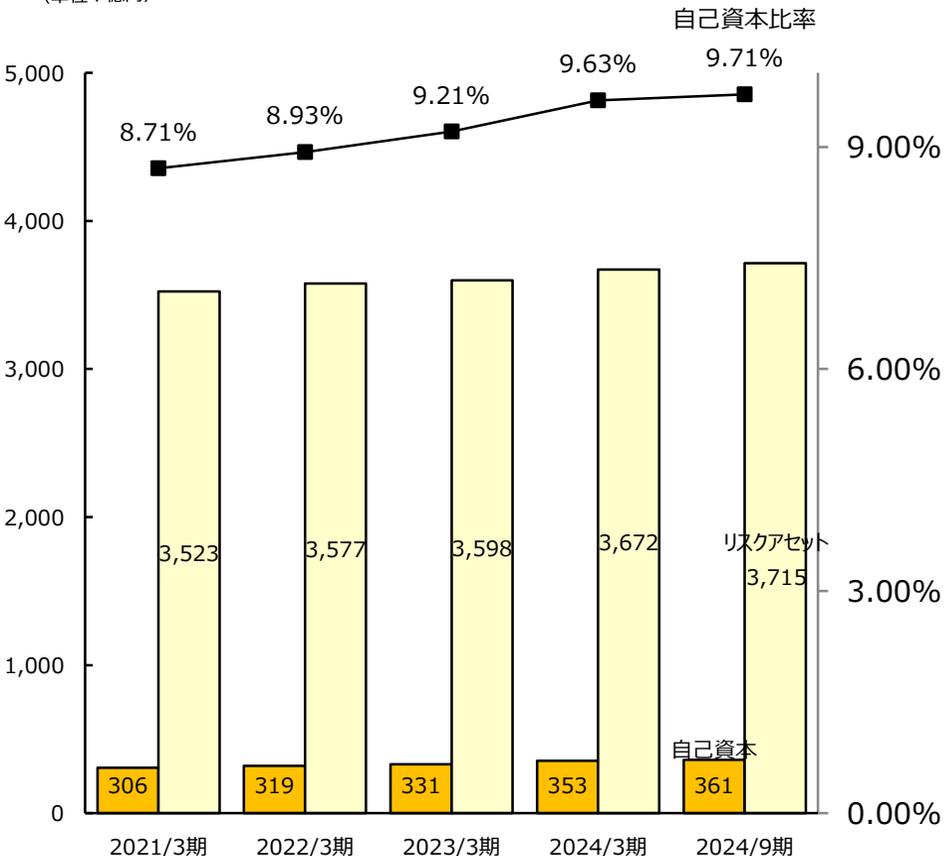
(注) 個人年金保険商品については、残高の把握が困難なことから、販売累計額を使用しております。

- 投資信託残高は前年度末比8億18百万円増加、個人年金保険は同1億36百万円増加しました。

9. 自己資本比率

自己資本比率の推移

(単位：億円)



(単位：百万円,%)

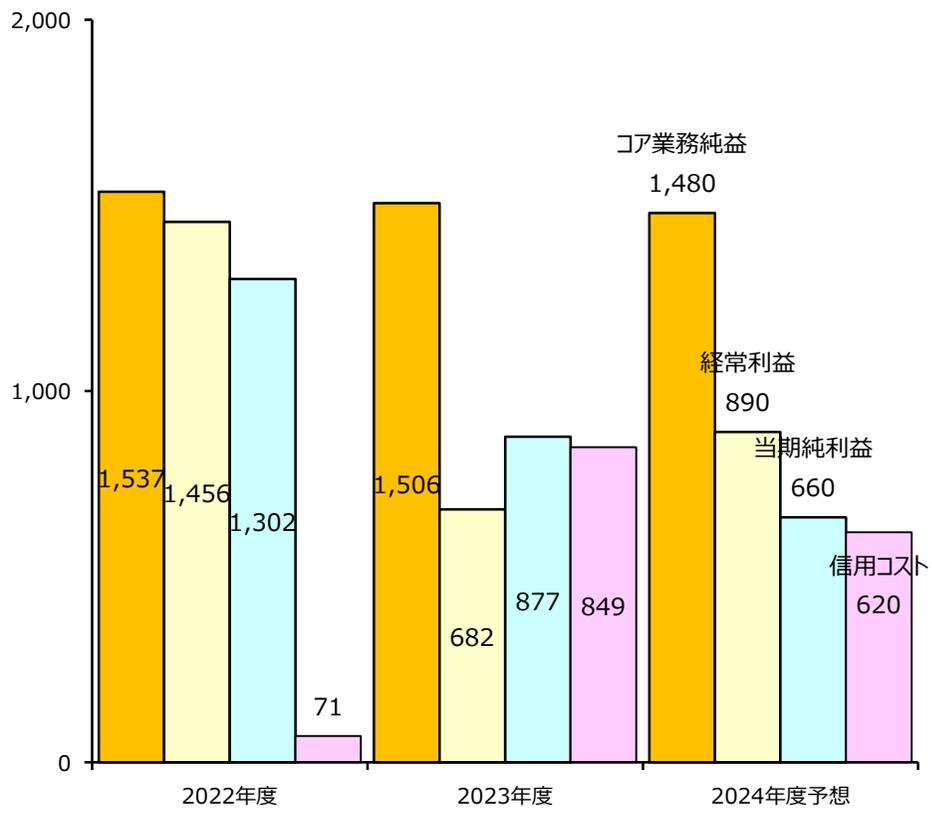
	2024年9月末		2024年3月末
	[速報値]	2024年3月末比	
自己資本比率 ① ÷ ②	9.71	0.08	9.63
自己資本 ①	36,109	727	35,382
リスクアセット ②	371,589	4,297	367,292

・リスクアセットが42億97百万円増加したものの、自己資本額が7億27百万円増加したことにより、自己資本比率は前年度末比0.08ポイント上昇し、9.71%となりました。

10. 業績予想

業績（予想）の推移

(単位：百万円)



(単位：百万円)

	2024年度 第2四半期 累計期間		2023年度実績	2024年度 通期予想	増減
	実績	期初予想			
経常利益	1,004	520	682	890	208
当期（中間）純利益	888	420	877	660	△ 217
業務純益	859	830	1,075	1,580	505
業務純益（一般貸倒引当金繰入前）	859	660	1,075	1,450	375
コア業務純益	903	670	1,506	1,480	△ 26
信用コスト	△ 165	170	849	620	△ 229
（一般貸倒引当金繰入額）	—	△ 170	—	△ 130	△ 130
（不良債権処理額）	△ 165	340	849	750	△ 99

(注)業績予想については、当行が入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

- ・日銀による金融正常化、とりわけ政策金利の利上げ動向、また日本経済の状況等が不透明であることから、去る5月14日に公表いたしました2024年度（通期）の業績予想は修正しておりません。なお、今後、業績予想の修正が必要になった場合には速やかに公表いたします。